

2025年4月
町田ハイトラスト株式会社

2024年度環境活動レポート

1. 環境経営方針

1) 経営理念

町田ハイトラスト株式会社は、株式会社タクマと株式会社タクマテクノスにより設立された特別目的会社として、町田市バイオエネルギーセンターにおいて町田市との事業契約に基づき、一般廃棄物焼却処理施設の運営維持管理事業を実施する運営共同企業体です。

この事業の遂行にあたっては、本事業の事業コンセプトとして掲げている

「市民の生活環境に配慮した施設」、「市民が安心して生活できる災害に強い施設」

「市民がともに学び・遊び・育むことのできる施設」、「市民が安全に生活できる安定的な運営」に則った事業所運営を目指します。

2) 活動指針

当社の経営理念に基づき、運営維持管理業務の遂行に当たっては、次の活動を積極的に推進し、断続的に経営を改善します。

- ① 一般廃棄物の適正かつ効率的な処理
- ② 発生する排ガスの安定処理
- ③ 従業員の安全と健康を確保する安全管理
- ④ 二酸化炭素排出量の削減およびエネルギー回収率向上の推進
- ⑤ 水使用量の削減

2. 2024年度 総評

2024年度は下表の通り、各項目目標を達成することが出来た。但し、2023年11月のバイオ前処理設備火災の影響により発酵槽へのごみの投入を行っていない。(2025年7月に再稼働予定)

表1)環境活動目標に対する実績と結果

| No. | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 評価 |
|-----|------------------------|---------------------------|--------|------------|-------|----|
| 1 | CO ₂ 排出の削減量 | t-CO ₂ | 15,390 | 21,744 | 141% | ○ |
| 2 | 発電量の確保(蒸気) | MWh | 25,900 | 46,813 | 181% | ○ |
| | 発電量の確保(バイオガス) | MWh | 4,570 | - | - | - |
| 3 | 上水使用量の削減 | m ³ | 39,327 | 27,780 | 29%削減 | ○ |
| 4 | 排ガス(ダイオキシン類) 測定結果 | ng-TEQ/ m ³ | 0.01以下 | 排ガス測定結果表参照 | | ○ |

3. 2024年度 実績と結果

1) CO₂排出の削減量

| 2024年度 発電に伴うCO ₂ 換算での排出削減量 | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 目標 | -15,390 t-CO ₂ |
| 実績 | -21,744 t-CO ₂ |
| 達成度 | 141% 削減 |

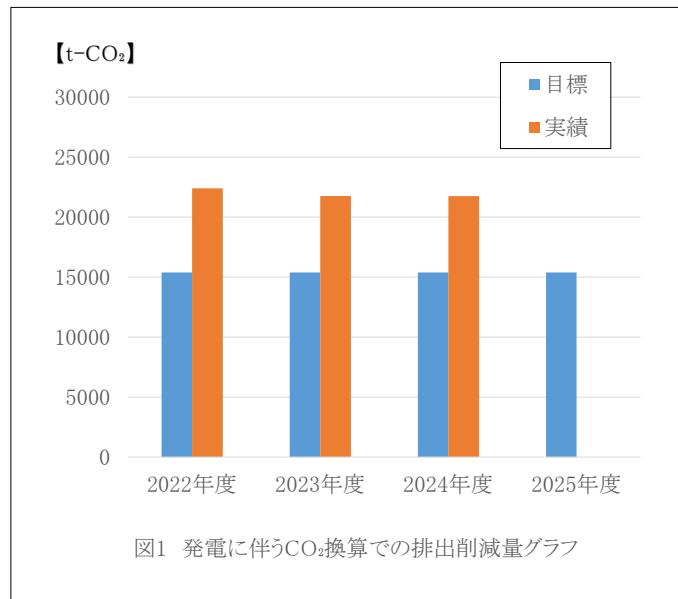
【主な取り組み内容】

①ごみ発電量の確保

- 季節を考慮したボイラ蒸発量設定運転
- ごみ処理計画に準じた運転の達成

②バイオ発電量の確保

- ごみ質の均一化の実施
- 発酵状態確認のための分析実施



【結果】

- 各発電量確保のための内容を達成したことにより、本項目の目標を達成した。

【2025年度の目標】

- 本項目に係る個別の内容を全て達成する事でCO₂排出量の削減を図り達成する。

2) 発電量の確保

2-1) 热回収による蒸気タービン発電量

2024年度 発電量の確保(蒸気)

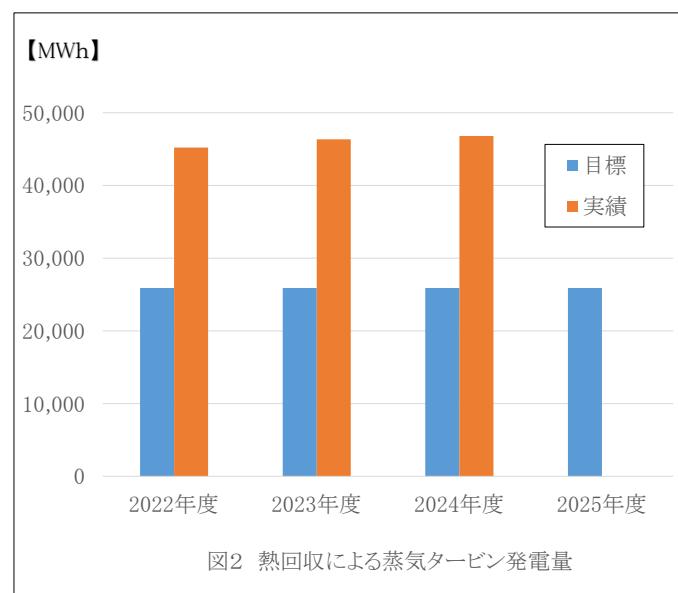
| | |
|-----|------------|
| 目標 | 25,900 MWh |
| 実績 | 46,813 MWh |
| 達成度 | 181% 増加 |

【主な取り組み内容】

- ①適正なボイラ蒸発量設定運転
 - ・季節に応じたごみ性状を考慮し調整
 - ・投入ごみの均一化
- ②発電量最大化に向けた運転計画
 - ・実際のごみ量と質に基づいて最適な運転計画を策定
 - ・休炉期間の最小化

【結果】

- ・計画に沿って焼却炉を操業したことにより、目標を達成した。



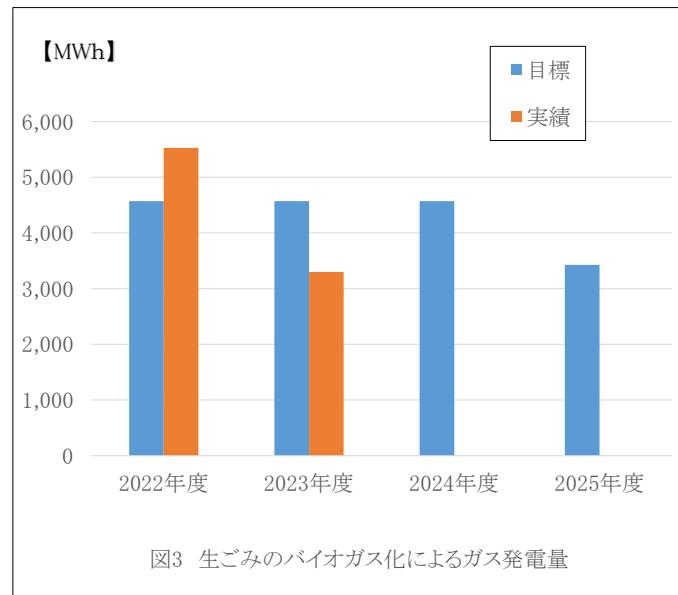
2-2) 生ごみのバイオガス化によるガス発電量

2024年度 発電量の確保(ガス)

| | |
|-----|-----------|
| 目標 | 4,570 MWh |
| 実績 | - MWh |
| 達成度 | - % |

【主な取り組み内容】

- ①ガス発生量の最大化
 - ・発酵槽内の微生物の活動に最適な温度管理
 - ・発酵処理に適した選別ごみの作成
- ②ガス発電機稼働時間の最大化
 - ・ガス発電機の定期メンテナンスの実施
 - ・発生ガス量に応じた運転計画の策定



【結果】

- ・2023年11月のバイオ前処理設備火災の影響により発酵槽へのごみの投入を行っていない。
- ・2025年7月からバイオガス化施設の本稼働が開始する予定

【2025年度の目標】

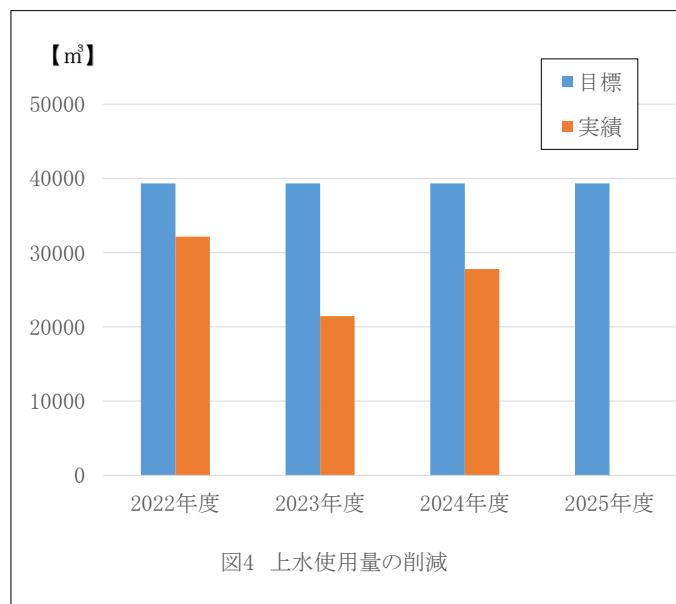
- ・焼却炉の安定稼働に注力し目標を達成する。
- ・バイオガス化施設の本稼働を行い、ガス発電機の連続運転を再開し、目標を達成する。

3) 上水使用量の削減

| 2024年度 | 上水使用量の削減 |
|--------|-----------------------|
| 目標 | 39,327 m ³ |
| 実績 | 27,780 m ³ |
| 達成度 | 29% 減少 |

【主な取り組み内容】

- ・生活用水の節水喚起
- ・植栽への雨水及び井水の積極利用
- ・再利用水の積極利用



【結果】

- ・再利用水の優先的使用や焼却炉の安定稼働、無理のない節水の実施により目標を達成した。

【2025年度の目標】

- ・上水使用量の確認と無理のない節水を心掛け、目標を達成する。

4) 排ガス(ダイオキシン類)測定結果

| 2024年度 | 排ガス(ダイオキシン類)測定結果 |
|--------|------------------------------|
| 目標 | 0.01ng-TEQ/m ³ 以下 |
| 達成度 | 100%達成 |

表2)2024年度 排ガス(ダイオキシン類)測定結果

| (単位:ng-TEQ/m ³) | | | |
|-----------------------------|-----|---------|---------|
| | | 5月測定 | 11月測定 |
| 目標 | | 0.01 > | |
| 実績 | 1号炉 | 0.00032 | 0.00031 |
| | 2号炉 | 0.00022 | 0.00017 |

【結果】

- ・焼却炉の安定稼働を行い目標を達成した。

【2025年度の目標】

- ・日々の運転状況の確認と無理のない運転計画を立案し、目標を達成する。